

事業所名 **こもれび第5** 支援プログラム (参考様式) 作成日 **2025年 3月 13日**

法人(事業所)理念	<p>急激に変化する障がい者福祉を取り巻く環境に対し、その時代に即した障がい者福祉事業を行っていくため、株式会社こもれびは、当社が運営に携わるすべての事業所をこもれびグループと称し、こもれびグループが果たすべき使命をミッション (MISSION)、実現する姿をビジョン (VISION)、大切にする価値観をバリュー (VALUE) とし、「MVV」を策定しました。</p> <p>MISSION (ミッション) 果たすべき使命 ①共存共栄 福祉はボランティアではなく持続可能なビジネスとして確立すべきである。 福祉はボランティアではなく持続可能なビジネスとして確立すべきである。 福祉はボランティアではなく持続可能なビジネスとして確立すべきである。 誰もが当たり前前に助け合う社会になるように共に生き、共に栄え、互いに「ありがとう」と言い合える。そんな社会に。</p> <p>VISION (ビジョン) 実現する姿 ①生涯 (障がい) 一貫したサービス「一生涯タウン構想」の提供 「ゆりかごから墓場まで (生から死まで)」を合言葉に、児童発達支援、放課後等デイサービス、就労継続支援A型・B型、就労移行、グループホーム、特別養護老人ホームなど福祉施設の運営をはじめとし、セレモニー施設、お墓・墓地、保育園、福祉の学校をつくる。 さらには飲食業、製造業、サービス業などを拡充させ、障がい者が主体となって「街 (タウン)」を作り、経済を回す。経済的な自立をスタートとして、人生の自立を目指す。</p> <p>②知立こもれび型福祉の全国展開 こもれびグループの「知立こもれび型福祉」を福祉のベーシックモデルとし、愛知県下全市町村を足がかりに、全国にこもれびグループの事業所を展開していく。</p> <p>ALUE (バリュー) 大切にする価値観 ①人になろう 自分を知り、相手を知ることから始まる 感謝 自分への感謝があってこそ、相手への思いやりが生まれる。ありがとうと言える人になろう。 謙虚 自分を知って、自分を認める。未熟を知って、学びが始まる。学び続ける人になろう。 考動 自分で考え、行動する。自問自答を繰り返し、意思を持って行動できる人になろう。</p>						
支援方針	<p>将来を見据えた就労体験 こもれびの放課後等デイサービスは療育は当然のこと、「就労前の位置付け」とし、高校卒業後の就職 (就労継続支援A型など) をサポートします。障がいを抱えたお子さまは放課後等デイサービスだけで終わりではありません。その先、大人になっても「仕事をする」という大きな壁が待っています。同じこもれびグループ内の就労継続支援事業所へ見学や体験することで、将来「仕事をする」ことを意識づけし、その先の就労までスムーズにステップアップできるような努めます。</p>						
営業時間	9時	分から	18時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握を行います。 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 就労に向けて必要なスキルを身につけ自立に向けた支援を行う。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びや課題を通して、身体や手先の使い方について助言を行います。 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 就労に向けて必要なスキルを身につけ自立に向けた支援を行う。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動や遊びを通して、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援を行う。 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の提案及び支援を行う。 長時間利用の際には地域の公園や散歩に出掛け、運動を行います。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動等の機会を通じ、コミュニケーション(言語・非言語のやり取り)により、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう支援を行う。 コミュニケーション手段を適切に選択し、環境の理解と意志の伝達が円滑にできるように支援する。 活動や買い物体験を通して地域の人たちとのコミュニケーションが取れる機会を積極的に提供していく。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動を取るなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援する。 施設でのルールを具体化し分かりやすく伝え、集団行動の中で円滑な人間関係や社会性が身につけられるよう支援する。 活動を通じ、支援員や他児童とのやり取りにより、多様な他者との関りの機会及び環境の提供により人間関係形成の促進。 					
家族支援	<p>連絡帳を活用し、家庭での様子や心配事などの情報を共有し、児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施。</p>				移行支援	<p>安定した支援を継続できるよう移行先に発達過程やこれまでの支援経過、支援方法等に関する情報共有し、地域の教育の後方支援を行ないます。</p>	
地域支援・地域連携	<p>こもれびグループの就労継続支援施設と連携し、他施設へ見学、体験を通してグループ全体での支援を行っています。</p>				職員の質の向上	<p>年間100時間以上の研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。</p>	
主な行事等	<p>7月夏祭り、8月流しそうめん会、10月ハロウィン会、12月クリスマス会</p>						